

「解釈で

集団的自衛権

憲法

9条こわすな」

日本に対する武力攻撃がなくても、日本が武力を行使する集団的自衛権。憲法解釈で集団的自衛権の行使容認を狙う安倍内閣。いまこそ、「憲法を守れ！」の一点で安倍政権の暴走ストップへ力をつくします。

日本共産党

「海外での「武力行使」の「歯止め」を外す

憲法9条の解釈改憲で、「海外での武器行使」への「歯止め」を外すということに他なりません。日本の自衛隊が先頭地域にまで行って、米軍と一緒に戦闘活動ができるようになってしまいます。

これは、憲法9条を事実上削除するのと同じことになってしまいます

「限定行使」というが無制限に広がる

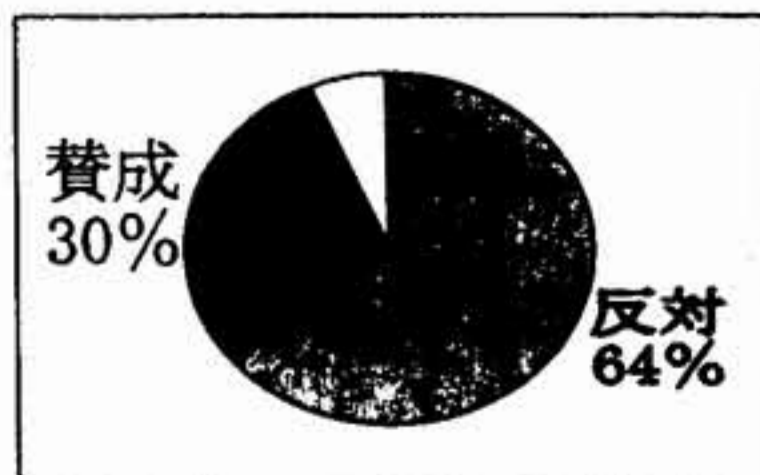
安倍首相は、国民の批判の広がりをおそれ、「無制限な行使ではない。最小限度のものに限定」と言っています。

しかし、いったん「海外での武力行使」への「歯止め」を外されてしまったら、時の政権の政策判断で、範囲は無制限に広がることになります。

憲法を守れ

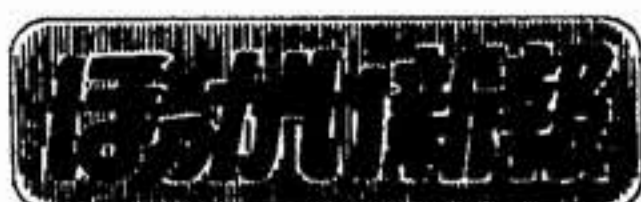
安倍内閣の暴走を許さず 国民世論で包囲しましょう

●集団的自衛権を行使可能にするために憲法解釈の変更に



「毎日」(3月29、30日両日調査)

国民世論は、憲法解釈の変更に反対が6割を超えています。歴代の内閣法制局長官も反対の声を上げています。圧倒的な国民世論で、安倍政権を包囲し、世界に誇る日本の宝—憲法9条を守り抜くために日本共産党は全力をあげます。



2014年5月号外 〒065-0012 札幌市東区北12条東2丁目3-2
発行所/ほっかい新報社 (昭和40年8月10日第三種郵便物許可)